

(議長)

休憩を閉じて再開いたします。

日程第17、一般質問を行います。

今定例会の一般質問は、お手元に配布のとおり、7名の議員から通告がありました。通告順に従って、順次これを許可致します。

(議長)

まず、「室井議員」の発言を許可致します。

「室井議員」。

「室井議員」

おはようございます。

最初に財政課題と財源確保対策について伺います。

令和2年度当初収支予算から分析すると、学校給食センター改築計画、橋梁と経年劣化している老朽施設の長寿命化に関する予算以外に、大きな政策課題に対応する予算が少なく見えます。それは、先の全員協議会での説明から読み取ることができますが、町長が2期目の抱負として、意欲を見せた5つの柱の中で、ここにコピーしたものがあります。5点書いてますが、第2点目、北の江の島構想を構想から実行へ。第4点目、愛宕町商店街、法華寺通り商店街を中心とした拠点化で賑わい作りの2点については、多少の課題点があっても、私が長年定例会での一般質問や常任委員会での意見書を通じ、取り上げてきた大きな課題であるという共通認識。江差町が後世へ継承すべき重要、最重要課題の一つとしての思いは、町長の考えとは類似しているものと思います。

今後、補正予算などを通じ、第6次江差町総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、総合戦略等の事業化に向けた具体的な検討に取り組みされると考えますが、私は財政的な裏付け、根拠の乏しい提案はできるだけ控え、町長公約の第2点、第4点については、全面的に理解し支援し実現化に向けて、議員の立場から最大限努力する議会人として重い認識と決意のうえ、政策の推進課題と財政について、少し辛口で以下の質問をいたします。

当初予算では、公約の政策予算が前段の調査費さえ全く見えないので、私の推察の範囲から事業経過一つ、事業計画を立案したい思いがあるが、厳しい財政の事情の中で、財源確保対策の見通しをたてられない状況にある。

一つ。事業化に向けた制度設計の検討すら、全くなされていない。

一つ。人口減少が更に進むと予想されている中、大きな財源を投資し、それが将来的に負の遺産にならないか。等の考えを持っているのではないかと思います。

更に辛口を加えると、町長公約に対し、真剣に共に汗を流す、実現に向けて共に行動する等、課題解決に向き合う政策を戦略的に練るまちづくりブレーンが果たして存在し

ているのか。誠に疑問を感じずるものであります。

加えて、町長の考えに対し、簡単でやりやすい対応と処理してしまう、いわゆるイエスマンに囲まれているのではないか等、考えている昨今です。

町長はどう考え、何を苦勞しているのか、実直な答弁を求めるものであります。

政策課題解決と財源確保対策は表裏一体であり、今後どう具体的に実行に移すか、考え方、その方策を伺います。以上です。

(議長)

はい町長。

「町長」

室井議員から当初予算に関して大きく5点に渡ってのご質問でございます。

ご質問の内容から、まとめて答弁すべきと判断した項目がありますので、あらかじめご了承願いたいと思います。

始めに1点目の、事業計画を立案したい思いはあるが、厳しい財政状況の中で財源確保対策の見通しがたてられない状況にあると、2点目の事業化に向けた制度設計の検討すら全くなされていないといったご意見、更には3点目の、人口減少が更に進むと予想される中で大きな財源を投資し、それが将来的に負の遺産にならないか等の考えを持っていないかとのご質問であります。本年度の当初予算につきましては、町政執行方針にも記載しておりますとおり、本年は向こう10年間のまちづくりの方向性を定めた第6次江差町総合計画や人口減少問題に積極果敢に望む第2期江差町まちひとしごと創生総合戦略、更には本町の土地利用等の指針となる江差町都市計画マスタープラン、立地適正化計画等に掲げる様々な施策を今後確実に実行していくうえでの足場を固める年にしたいと考えているところでございます。

議員ご指摘の人口減少に端を発した縮小する社会や本町の財政状況等を悲観的に捉え、将来への投資や負担を回避したものではないことをご理解願えればと思います。

一方で、厳しい財政状況は今後も続くものと考えられることから、将来にわたって持続可能なまちであり続けるため、事業の選択と集中はもとより、国や道などの制度を活用しながら限られた財源を有効に活用する方策を進めてまいります。

また、事業化に向けた制度設計の検討すら全くなされていないとのことでございますが、これまでも日常の業務の中で、あるいは今年度の予算ヒアリングを通して、通じて今少し時間をかけて成熟した制度となるよう私から指示をした施策もあり、決して役場内部の議論が皆無であるといったことはございませんので、重ねてご理解願いたいと思います。

次に4点目の町長公約に対し、真剣に共に汗を流す実行に向けて共に行動する等、課題解決に向き合う政策を戦略的に練るまちづくりブレーンが果たして存在しているのか

疑問を感ずるという点と、5点目の町長の考えに対し、簡単でやりやすい対応を処理してしまう、いわゆるイエスマンに囲まれているのではないかとのご質問でございますが、私は平成26年の町長就任以来、一貫して地域の皆様の声に耳を傾け、山積する課題の解決に向け、職員と一丸となり開かれた行政の推進と行動をするまちづくりに努めてきたところでございます。

また、政策立案過程においては、これまでも役場内部の横断的な議論を求め、私の2期目の所信表明でも述べましたが、何が真に町民の皆様のためになる選択なのか、そして子ども達の笑顔が輝く未来に繋がっていくのかを判断基準に据え、町政を執行してきたところでございます。

議員ご指摘の政策ブレンが果たして存在しているのか、イエスマンに囲まれているのではないかとのご懸念は一切ございませんので、ご理解願いたいと思います。

次に政策課題に対する財源確保対策の今後の考え方についてでございますが、山積している諸課題への取り組みについて、補助交付金や地方債の発行において財源の確保をしておりますが、老朽施設の修繕等が重なってきていることなどの状況もあり、この数年は当初予算の編成において財源不足となり、基金からの繰り入れで対応しているところであります。議員ご指摘のとおり、政策課題の解決には財源確保対策が切り外せない取り組みとなっておりますが、新たな財源の確保、難しい課題もあります。私といたしましては、令和元年度の決算見込みを3月下旬までに取りまとめたくうえで、令和3年度以降の5年間の中期財政の見通しと、財政運営方針を策定し、新年度の早い段階で議員の皆様にお示ししたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい、室井議員。

「室井議員」

議事進行のために再質問やりません。

次に2問目にいきたいと思います。よろしいですか。

第6次江差町総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、総合戦略について、総体的に伺いたいと思います。

第6次江差町総合計画含め、新しい計画に1年間熱心に取り組みされてこられた各審議会、委員会の皆さんと、この計画策定に尽力された担当課、まちづくり推進課、建設水道課にはそのご苦勞に冒頭から敬意を表したいと思います。各計画は今後10か年、江差町が持続可能な町として、後世へ継承させるべき基本的方向性を示す総体論であり、本年度から各政策の優先性を考慮した計画立案が検討されると認識しております。今後更に計画立案、事業実施化に向けて厳しい議論や外部との交渉、要請行動など、困難が多岐にあると思われませんが、一層の活躍を期待するものであります。

詳細質問は特別委員会が設置されておりますので避けますが、各担当課長は常々、構想、計画立案にあたっては、議会との整合性を少しでも多く図りたいと申ししております。

議会人として、その思いに一層身の引き締まる思いであり、私の25年間の議会での経験と、今日まで築いた人脈の必要性があれば、全てを、全てを提供し支援することを申し添えます。

そのためには、各計画が現在どのように検討されているのか、構想、計画の進捗状況を適時議会に報告して頂きたいと思っておりますので、その内容について所見を求めたいと思っております。以上です。

(議長)

町長。

「町長」

室井議員の2問目、第6次江差町総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、総合戦略に関し、構想や計画の新着状況等について、適宜議会へ報告すべきとの主旨のご質問でございます。

始めに第6次江差町総合計画や第2期江差町まちひとしごと創生総合戦略、あるいは江差町都市計画マスタープラン、立地適正化計画につきましては、先ほどの1問目のご質問にもお答えした通り、本年度はそれぞれの計画に掲げる様々な施策の確実な実行に向けて、役場内部での議論はもとより、関係機関等との調整や要請といった足場を固める年にしたいと考えております。このような中で、室井議員からは事業の実現に向けて様々な立場からご協力を頂ける旨のお話を頂き、感謝を申し上げます。人口減少や高齢化社会への対応、縮小する経済、一次産業の振興等、山積する町の課題を一つ一つ解決していくためには、議会の理解を得ながら、事の解決にあたるべきものと考えており、議員ご指摘のそれぞれの計画の進捗状況につきましては、適宜議会への報告もしてまいりたいと考えておりますので、ご理解願えればと思っております。

(議長)

いいですか。

はい、3問目。

「室井議員」

はい。3問目にいきたいと思っております。

財政調整基金、地方債と企業連携について質問いたします。

令和2年度の一般会計収支予算案を見ると、一般会計では財政調整基金から3億5千

万円を取り崩し、財源確保を行っております。この後の議案第14号に載ってる通りでございます。私は以前から何度か町長に対し、民間的な発想、感覚から、貯金は少し減っても良いから借金を増やさない努力をしなければならぬと意見しております。町財政の運用は、その年度の政策事業の変化により短期的要素として変化する可能性を常に有し、一喜一憂することはないと考えます。しかし、故事に一葉落ちて天下の秋を知るということわざがございます。この先をいかに敏感に読み取ることができるか。今極めて重要な時期に差し掛かっていると認識しております。地方債は、ここ3か年間大きな変動はございませんが、実質公債費比率が平均約16パーセント台と、起債借入時に評価されるイエローラインの18パーセントに近づいており、危険水域が目の前と考えます。一般論ではなく、江差町として、この先何が最重要課題となるのか、具体的課題をございましたら3点程に絞り答弁を求めたいと思います。

私は長年、江差町の重要なまちづくり、懸案課題解決には、第3セクター方式ではない企業との連携事業の必要性が今後さらに大きくなると意見し、提案してきました。江差町の歴史的遺産は、ソフトハードを含め、他町に例のない江差町固有のものであり、そこをしっかりと再認識され、長年積み上げてきた政策のど真ん中に置き、政策展開の行動をして頂きたいと思います。

江差町と企業連携、町民、行政、議会が今一致団結し、重要施策の基本計画を早期に策定し、令和2年度企業連携元年度と目標を定め、行動を更に進めて頂きたいと思しますので、所見を求めるものであります。

(議長)

はい、町長。

「町長」

室井議員の3問目、財政調整基金と地方債、企業連携についてでございます。

1問目でご答弁申し上げたとおり、財源確保が難しく、基金に依存している状況であることや実質公債費比率が高く、道内でも高い順からでは常に上位であることを鑑みると、地方債の償還や残高を減らしていく取り組みをしていかなければならないことは私も考えているところでございます。そのような財政運営を余儀なくされている中で、一般論ではなく具体的に3点の課題をとということではありますが、議員ご承知のとおり、本町を取り巻く環境は厳しさを増しており、政策課題につきましても高齢化社会への対応や老朽化するインフラの維持管理、一次産業の振興等、多岐に渡るものであり、3点に絞り込みをすることは困難であると考えています。

一方で、信頼と期待に応え、多くの課題を確実に解決していくためには、役場自身が横断的で限られた行財政資源で最大の効果を生み出す体制にすることが、なによりも重要であると認識しております。

また、江差町内のあらゆる民間の方々と連携し、それぞれの役割分担を明確にしなが  
ら、民間の柔軟な発想と行動力を引き出す等といった、民間の活力を活かした町づくり  
を進めていかなければならないものと強く感じております。

次に、民間企業との連携を図りながら重要施策の展開を図るべきとのご指摘ござい  
ますが、まさしく地方創生のキーワードの一つに、官民連携が掲げられており、今後の  
町づくりのあらゆる場面において、民間企業との連携は不可欠なものと考えておりま  
す。

現段階で具体的な企業名は公表できませんが、今現在、本町の町づくりに関心を寄せ  
ている民間企業があり、早い時期に町づくりに関する包括連携協定を締結する予定とな  
っております。本協定の締結を新たな町づくりのスタートと捉え、今後も本町の町づく  
りにご支援ご協力頂ける民間企業を、私のトップセールスを含め幅広く募りながら、北  
の江の島構想をはじめとする懸案事項の解決に向けて、着実に前進してまいりたいと考  
えておりますので、ご理解願いたいと思います。

「室井議員」

議長いいですか。

(議長)

はい。

「室井議員」

はい、終わります。

(議長)

はい。

以上で、室井議員の一般質問を終わります。